

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービスmiki		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	日々の活動の中でも1か月に1回は必ず防災訓練の日を設け、法人全体でも災害対策に取り組んでいます。災害時にも利用者さんの安全を確保できるよう、スタッフの教育にも力を入れています。	災害発生時の避難訓練だけでなく、災害発生後に保護者様に安全に引き渡しができるまで過ごすことを想定し、事業所の備蓄品等の整備を進めていきたいです。
2	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	定期的な面談を行い、利用者さんの年齢や成長発達にも考慮した支援計画の立案に努めています。医療的ケアに対しても専門的な知識に基づいた助言を心がけています。	医療的ケアがあっても、子どもが子どもらしく成長発達していくことができるよう、これからも保護者の方と連携を取りながら日々の支援を行っていきたく思います。面談時だけでなく、いつでも相談していただける存在になれたらと思います。
3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	保護者より申し出があった時は速やかに管理者に報告しています。また、毎日ミーティングを実施し、管理者も含め保護者からの訴えをスタッフ間で共有しています。	現在も管理報告書を活用して、管理者が不在時でも速やかに報告できるルートを作っていますが、今後も速やかに対応できるように周知徹底していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない	近隣の放課後児童クラブや児童館についての情報を把握しておらず、交流の機会を持っていません。また放課後は短時間の利用となるため、どのような方法であれば交流が可能かを検討していく必要があります。	まずは、近隣の放課後児童クラブや児童館について情報収集をしていきたいと思います。放課後利用時は時間的に難しいため、長期休み等時間に余裕がある時に交流を深めていけたらと思います。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	イベント時に家族会を実施しましたが、平時に事業所主体で保護者会等の保護者同士の連携を支援する機会は十分ではないかと思えます。利用者さんをデイで受け入れることで、父母の会に参加しやすくするなどの間接的な支援につなげています。	継続的に保護者間の連携支援ができるよう、定期的な家族会の開催を検討していきたいと思えます。そこから父母の会の立ち上げにつなげていけるよう努めていきます。
3			